

(社) 日本小児科学会

1. 学会の会員構成等

医師： 18,735名(専門領域不明)

医師以外： 88名(心理関係者等)

※分科会である日本小児心身医学会、日本小児精神神経学会・日本小児神経学会が中心となって取り組んでいる。

※現在いくつかの委員会にまたがっている子どもの心に関する検討事項を検討する子どもの健全育成に関する委員会を立ち上げる予定。

(1)一般の小児科医・精神科医	15,000人
(2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医	2,000人
(3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師	200人

2. 対象疾患領域等

- ・こどもの心の発達に及ぼすテレビ視聴、テレビゲームなどの影響
- ・十代の喫煙
- ・飲酒の問題など
- ・虐待問題

3. これまでの取り組み

・子どもの心の問題に特化した研修プログラム、認定制度については分科会が担当している。

年次学術集会、セミナー、地区学会(地方会)等、それぞれの主催責任者(会頭、会長等)によりプログラムを組んでいる。(東京地方会では平成15年度にシリーズ講演「子どものこころをはぐくむために」を9回実施し、各回200名前後の参加者があった。)

・小児科学会認定医(専門医)の資格取得のための研修目標中に「精神疾患(精神・行動異常)、心身医学」を含めている。

平成15年度の認定医試験合格者数： 409人

平成16年度の認定医試験合格者数： 492人

平成17年度の認定医試験合格者数： 451人

平成18年度の認定医試験合格者数： 304人

4. 平成18年度の取り組み

分科会である日本小児神経学会、日本小児心身医学会、日本小児精神神経学会と小児科医会の協力を得て、現在、一般小児科医のためのテキストの活用を容易にするための、紹介先医療機関並びに紹介先医師のリスト「子どもの心の二次診療医」を作成し、ホームページに掲載するための準備を行っている。

また、平成19年度子どもの健康週間に向けて、日本小児科学会学校保健・心の問題委員会を中心に、前記団体の協力の下に、子どもの心の診療医育成セミナーの開催の準備を行っている。

5. 今後の取り組み

○平成19年度の計画

- ・初期研修プログラムの改定
ただし、研修プログラムの内容は、初期研修制度の中での小児科の持ち時間によって左右される。
- ・小児科専門医研修プログラムの改定
- ・分科会と協同での講習会の開催

○平成20年度の計画

- ・分科会と協同での講習会の開催
- ・小児科専門医研修プログラムの改訂に基づく評価法の見直し

○平成21年度の計画

- ・分科会と協同での講習会の開催
- ・小児科専門医研修プログラムの改訂に基づく新評価法の採用と更新条件の見直し

○平成22年度の計画

- ・分科会と協同での講習会の開催
- ・小児科専門医研修プログラムの改訂に基づく新評価法の採用と新更新条件の採用